

物理工学談話会

ハイパーカミオカンデが切り開く物理 -地下から見通す素粒子と宇宙-

浅岡 陽一 (東京大学宇宙線研究所)

2026年4月17日 (金) 16:30- @総合研究棟W202

概要：

ハイパーカミオカンデは、自然の奥深くに埋め込まれた物理定数を初めて測定し、ニュートリノと反ニュートリノの振動に違いがあるのかを決定します。ハイパーカミオカンデ検出器は、他にも大統一理論の証拠となる核子崩壊の探索や、超新星ニュートリノの精密観測を同時に行う、素粒子と宇宙にまたがる大型の基幹装置です。この実験の建設・立ち上げ・解析のすべてに深く関われる、20~30年に一度のフェーズがいま始まろうとしています。

世話人 南野 (minamino-akihiro-nx@ynu.ac.jp)